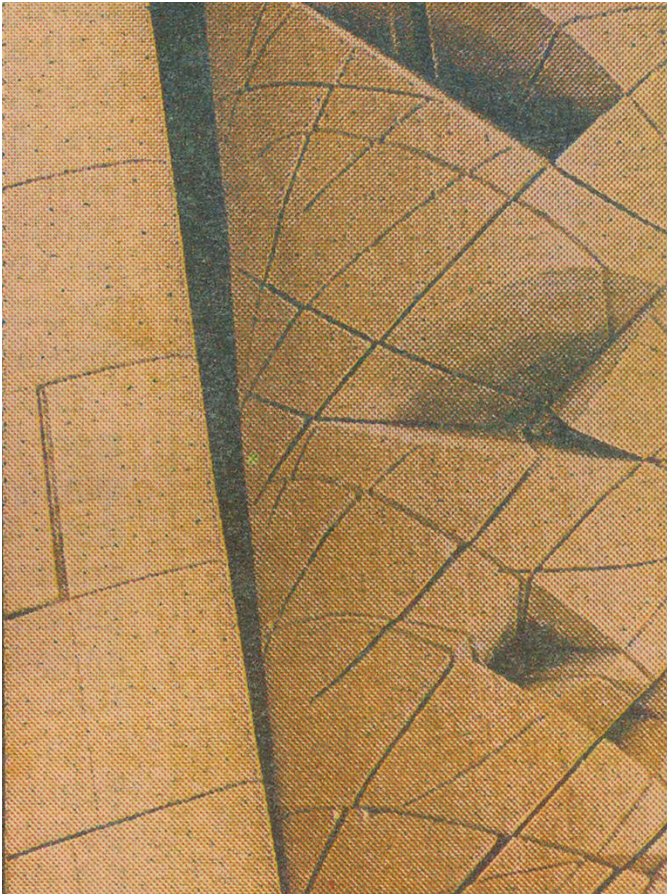


San Antonio Light

OCTOBER 27, 1988 THE

viva

**THURS
DAY**



木の芸術：角永和夫の Wood No.8 がブルースターアートスペースに展示されています。

日本の芸術家は自然の魔法を強調しています。

文・ STEVE SENNETT (スタッフ記者)

日本のアーティスト、角永和夫は、木、紙の絹、竹などの自然素材の本質を求めて、自然に問いかけます。自然の脆弱性と弾力性についての彼の質問は、古代の質問です。しかし、彼の芸術はしばしば「ミニマリスト」や「概念論者」のような言葉で表現されます-2つの非常に現代的な運動。

角永の芸術は、彼自身のように、簡単な答えを提供しません。しかし、彼の作品に出会うとすぐにわかるのは、42歳のアーティストの自然への深い敬意です。「彼は自然の分身です」と、数年前にコーパスクリスティのサウステキサス美術館にいたときに「木/紙/竹/シルク」を組織してキュレーションしたサウスウェストクラフトセンターのディレクター、リックコリアーは言います。クラフトセンターとブルースターアートスペースは、ショーのさまざまな要素を取り入れており、ARTIST/G1からサウステキサス美術館を離れて展示されています。オープングレセプションは金曜日に設定されています。



ミニマリスト：日本人アーティスト角永和夫は水曜日のブルースタースペースで彼のショーをインストールするのを手伝います。

アーティスト：最先端の作品

どちらかのギャラリーに足を踏み入れると、徐々に自然の音楽に慣れてきます。あなたはゆっくりと落ち着き、リラックスし、瞑想し始めます-そして幾分畏怖の念を抱きます。それは教会や寺院に入るようなものです。クラフトセンターの床に置かれている単純な杉の丸太のように見えるものは、綿密な検査で丸太が何百もの紙のように薄いストリップに縦にカットされていることを発見すると、まったく新しい意味を持ちます（の複雑な技術を使用してベニヤストリッパー）、元の形で接着し直します。自然が作るのに何百年もかかった丸太は、人間の手によって数日で分解され、再組み立てされました。

ブルースターには、この方法のより大きな、そしてさらに驚くべき例があります。しかし、すぐに注目されるのは、ブルースターの展示の目玉である「ウッド No.8」というインスタレーションです。それは10本の丸太（長さ15フィート、直径18インチ）で構成されており、床にきちんと並んでいます。丸太は、乾燥する前に、外科的幾何学的方法で、またはランダムな十字形に見えるように切り分けられました。乾燥すると、その自然な亀裂や亀裂に対応する切り込みがより深く、より広くなりました。「彼はいくつかのプロセスをスピードアップしています。それは非常に活発で叙情的な芸術です。」とコリアーは言いました。は、このアーティストを少し変だと思っています。そして、他の角永と同じように家業に参入すべきだと信じる父親との戦いがあった。木は門永の最大の関心事でしたが、アーティストは他の天然素材も使用し、自然を微妙に操作したり、微妙ではない方法で突き出したりしています。彼は竹を加熱してその光沢を引き出し、その色を濃くし、大きくて幾何学的な形の和紙の壁片、または手作りの桑紙を作ります。繰り返しますが、彼は

質問をし、答えを求めています。しかし、おそらく角永の最も魅力的な自然探検は、2年前、4世紀に中国人によって日本にもたらされた古代の養蚕業に参入したときに始まりました。彼は伝統的な方法に従い、何千ものシルクワームを通常のマトリックス構造に放出します。桑の葉を与えられたワームは、すぐに繭を回して絹を作るスペースを探し始めます。ワームは上に向かう傾向があるため、角永は落ち着く過程でフレームを繰り返し回転させ、グリッド状の構造内でより均一に分布させることができます。その後、伝統的な養殖業者と同じように、絹の紡績は蒸気によって止められます。これらの構造は芸術の世界では独特であり、他の重要な芸術作品と同様に、私たちの深い熟考を求めています。

角 永 和 夫

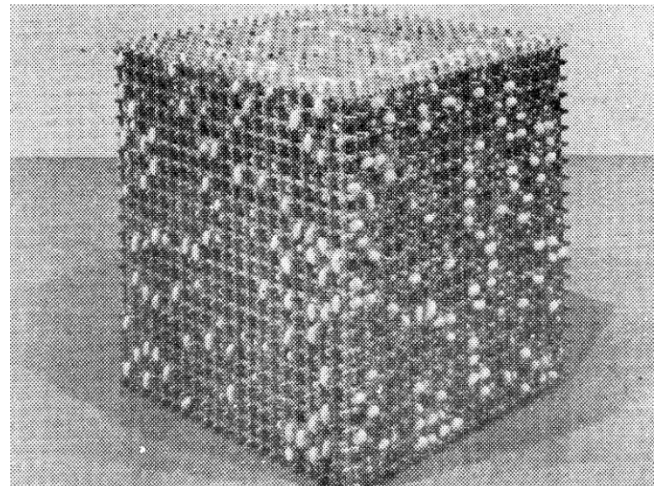
内容：日本のアーティストは、「木/紙/竹/絹」というタイトルの展示でミニマリストの作品を展示します。

時：金曜日-1月。8.8。

場所：サウスウエストクラフトセンター、
300 Augusta, and Blue Star Art Space,
South Alamo at Probandt.。

オープニングレセプション：午後6時から8時 金曜日はクラフトセンターで。午後8時から10時 ブルースターで金曜日。224-1848に電話してください。

MARIO VILLAFUERTE/SAN ANTONIO LIGHT



展示：「Silk No.2D」

角永和夫のショーの作品のひとつで、「木/紙/竹/絹」。